PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

02-008784

(43) Date of publication of application: 12.01.1990

(51)Int.CI.

G04F 13/02 G01D 21/00

(21)Application number: 63-156939

(71)Applicant:

FUJITSU LTD

(22)Date of filing:

27.06.1988

(72)Inventor:

TAKEI FUMIO

FUJITA SHOZO

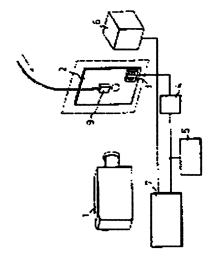
HATAYA TAKAFUMI ASANO TAKAHARU

(54) IMAGE DATA SYNCHRONIZING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To allow image data to certainly correspond to other physical and chemical quantities by simple constitution by taking a display device changing with the elapse of time simultaneously into an image.

CONSTITUTION: A measuring apparatus for recording the motion of a water droplet under minute gravity and a change in the acceleration applied thereto is constituted by a recorder integrated type VTR camera 1, a screen 2, a synchronous seven-segment LED 3, a display element light emitting controller 4, a synchronizing signal generating time 5, a three-axis acceleration sensor 6, a digital memory device 7 and a water droplet forming nozzle 9. By this method, a light emitting type display device changed over in its display content at a high speed is provided and the time data of the outside is taken in an image. This speed can be set even to 1/30 sec or less and the recording and analysis of a phenomenon changing at a high speed can be easily performed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報 (A) (11)特許出願公開番号

特開平2-8784

(43)公開日 平成2年(1990)1月12日

(51) Int. C 1. 5 G 0 4 F G 0 1 D	13/02 21/00	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
GUID	21/00			G 0 4 F G 0 1 D	13/02 21/00 M
	審査請求	有			(全4頁)
(21)出願番号	号 特願昭63-156939 昭和63年(1988)6月27日			(71) 出願人	000000522 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1 号
				(72) 発明者	
				(72)発明者	· 藤田 省三 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内
				(74)代理人	、青木 朗 (外4名)
					最終頁に続く

^{(54) 【}発明の名称】画像データ同期方式

^{(57) 【}要約】本公報は電子出願前の出願データであるた め要約のデータは記録されません。

2

1

【特許請求の範囲】

1、画像および画像以外に測定される物理量、化学量および/または生物学的量の時間変化を記録するに際して、画像中に時間とともに変化する表示装置を写し込むことにより、画像データと時刻データの同期を行う画像データ同期方式。

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

@ 公 開 特 許 公 報(A) 平2-8784

@int.Cl. *

識別記号 庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)1月12日

G 04 F 13/02 G 01 D 21/00 7809-2F M 7809-2F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

9発明の名称 画像データ同期方式

②特 顧 昭63-156939

22出 題 昭63(1988)6月27日

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 文 雄 **60**発明者 武 井 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 700発明 苺 田 省 Ξ 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社 文 谷 隆 個発 明 者

N N

勿出 頤 人 富士通株式会社 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

⑩代 理 人 弁理士 青木 朗 外4名

明 報告

1. 発明の名称

画像データ同期方式

2. 特許請求の範囲

1. 画像および画像以外に測定される物理量、 化学量および/または生物学的量の時間変化を記録するに摩して、画像中に時間とともに変化する 表示装置を写し込むことにより、画像データと時 刻データの同期を行う画像データ問期方式。

3. 発明の詳細な説明

(概 要)

画像データと時刻データの向期を行う画像デー タ両期方式に関し、

画像および画像以外に測定される物理量、化学量および/または生物学的量の時間変化を記録する測定系の装置の小型・転量化を図り、信頼性を増大させることを目的とし、

画像中に時間とともに変化する表示装置を写し 込むことにより構成する。

〔産業上の利用分野〕

本発明は、画像データと時期データの同期を行う画像データ同期方式に関する。 さらに辞しく述べるならば、

本発明は、時間とともに変化する画像と、その 画像に現れる以外の物理量等を記録した場合にお いて、それら相互の時間関係を対応づけするため の確実かつ簡易な方法に関する。

近年、VTRカメラを代表とする画像記録装置の普及により、各種の物理現象、化学反応、生物学的現象等を画像に記録して、後に詳細な解析を加える実験の機会が増加している。しかり、実験な歴は、小型・経量化の傾向にあり、か必要なのででは、小型・クの記録をすることが変化のでで、のでで、ので、というでは、のでは、加速度、圧力、、各化学を強定して登更となる。

特閒平2-8784 (2)

〔徒来の技術〕

提来の画像データとそれ以外のデータの対応作業においては、例えば、画像に時計をスーパーインボーズしておき、これと同時に計時を開始した 別の時計を外部に設け、その数値より物理量との対応を行う方法や、外部の物理項象記録要置と同期した計時信号を画像にスーパーインボーズする方法が一般的であった。

しかしながら、前者の方法では、非常に短い時間間隔の測定においては、高速に計時可能な時計をスーパーインポーズする必要があり、構造的に複雑にならざるを得ない。また、後者の方法においても、外部物理現象記録系等との同期をとった時計をスーパーインポーズすることは、容易ではない。

【発明が解決しようとする課題】

従って、画像データとそれ以外の数値データと の対応が可能な測定系は、複雑な構成になり、装 置の小型・軽量化を妨げる要因であった。また、 複雑な構成故に、故障率の増大や、信頼性の低下 といった問題もあった。

本発明の目的は、かかる装置の小型・軽量化を 図り、信頼性を増大させることのできる、画像デ ータ同期方式を提供することにある。

[課題を解決するための手段]

本発明は、上記の課題を解決するため、画像および画像以外に測定される物理量、化学量および /または生物学的量の時間変化を記録するに際し て、画像中に時間とともに変化する表示装置を写 し込むことにより、画像データと時刻データの同 期を行う画像データ同期方式を提供する。

即ち、本発明においては、外部の記録系と同期 して計時(計数)し、その計時結果を記録してい る画像中に電気的表示集子により写し込む方法を 採用するものである。

表示装置としては、小型の発光ダイオード (LED)、整光表示管、プラズマ表示器等を用いることができ、画像記録装置として、ピデオチ

ープレコーダ(VTR)、感光フィルム式録画装置等を用いることができる。

第1 図は、本発明の原理説明図である。図中、 1 は簡像記録装置、2 はスクリーン、3 は同期用 電気的表示素子、4 は表示素子制御器、5 は同期期 信号発生器、6 はセンサ素子、7 はセンサ信号記 録装置である。計時(計数)は、MSI程度の TTLで容易に実現可能であり、さらに、マイク ロプロセッサ等のLSIを用いても問題ない。電 気的表示素子としては、7 セグメント型の発光 イオード(LED)や、優光表示管(FD)、プラズマディスプレイ(PD)、電界発光素子 (EL)等を応用することができる。

(作用)

本発明では、第1図の如く、高速に表示内容が 切り替わる発光型表示器を備えて、画像に外部の 時間データを写し込んでいる。この速度は、ビデ オフレーム即ち1/30秒以下にも数定可能であ り、高速で変化する現象の記録および解析が容易 に行なえる。このため、専用のスーパーインポー ズ用装置等が不要であるため、別定記録系が小型 経量化される。

従って、航空機や宇宙船などのように限られた 空間で、高速に変化する物理現象の観察や、化学 的もしくは生物学的変化のように長時間にわたる 変化の観察などの実験を進める必要がある場合に、 従来の装置では測定不可能なデータが入手可能と なる。

(実施例)

第2図は本発明の一実施例の構成図であり、微小量力下における水液の運動とこれに加わる加速度の変化を配縁する測定装置を表している。図中、第1図で示したものと同一種類のものは同一の配号で示してある。1は記録装置一体型VTRカメラ、2はスクリーン、3は同期用7セグメント発光イオード、4は表示素子発光制御器(7セグメントデコーダ)、5は同期信号発生用タイマ、6は三軸加速度センサ、7はディジタルメモリ装

特開平2-8784(3)

置、9は水滴作製ノズルである。

本装置を用いて、無重力下における水清10の 形成の様子を記録した画像の一例を第3図に示す。 図中、右下方に表示されているのが同期用1セグ メント発光ダイオード3である。この数値は1/ 30秒で進むため、ピデオのフレームと表示器の 数値は1対1で対応する。従って、この数値をも とに、加速度のデータを容易に対応づけすること が可能である。

(発明の効果)

以上に示したように、本発明によれば、簡便な 構成で、確実に画像データとその他の物理量、化 学量等を対応づけすることが可能である。本発明 により、限られた空間の中に、上記のような質の 高い実験データを記録する例定系を実現すること が可能となる。

4. 図面の簡単な説明

第1 図は本発明の原理構成図、第2 図は本発明 の一実施例の構成図、第3図は本発明一実施例に

よる結果を示す図である。図中、

1 は画像記録装置、 2 はスクリーン、

3 は阿斯用電気的表示条子、

4 は表示素子制御器、5 は間期信号発生器、

6はセンサ素子、

7はセンサ信号記録装置、

8 は蓄像記録装置視野、

9 は水油作製ノズル、

10…水液

を表している。

人脚出指幹

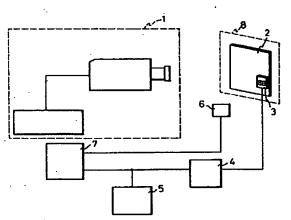
富士通株式会社

特許出職代理人

男 弁理士 石 砂 Ħ

弁理士 山 Ż BA

弁理士 西 山



本発明の原理図

萬1 図

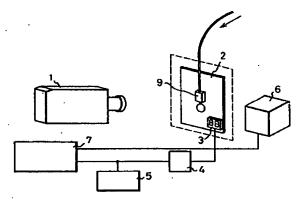
·画像記錄裝置

2・・・ スクリーン

3· · · 何期用表示象子

ム・・・表子素子制御器

5... 同期信号発生器 6・・・センサ素子 7・・・センサ信号記録模数 8・・・画像記録模数規数



本発明の一実施例の構成図

第 2 図

1・・・ VTB カメラ

2・・・ スクリーン

3・・・ 同期用発光ダイオード

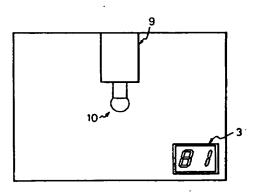
4・・・ フセグメントデコーダ 5・・・ 同期信号発生用タイマ

6・・・三軸加速度センサ

7・・・ディジタルメモリ装置

9・・・水縞作製ノズル

特関平2-8784(4)



本発明の一実施例による結果を示す図

第 3 図

3··· 袋 示楽子 9··· ノズル 10··· 水滴